

平成 23 年 4 月 28 日

沖縄電力株式会社

## 平成 22 年度決算について

### 1. 販売の状況

平成 22 年度の販売電力量は、電灯が前年度に比べ 2.6%増の 29 億 91 百万 kWh、電力が 0.7%減の 45 億 30 百万 kWh、販売電力量合計では、前年度に比べ 0.6%増の 75 億 21 百万 kWh となりました。

電灯においては、お客さま数の増加があったことによる需要増により、前年度を上回りました。一方、電力では、大口電力において前年度に高稼働となった海水淡水化施設の反動減があったことなどにより、前年度を下回りました。

### 2. 収支の状況

平成 22 年度の収支については、収入面では、燃料費調整制度の影響による電灯電力料の減少、連結子会社の異動の影響、外部向け売上高の減少などにより、売上高（営業収益）は前年度に比べ 40 億 7 百万円減（ $\Delta 2.5\%$ ）の 1,584 億 94 百万円となりました。

一方、支出面では、燃料費や他社購入電力料などの増加はあったものの、連結子会社の異動の影響による減少、売上高減に伴う売上原価の減少などにより、営業費用は前年度に比べ 9 億 85 百万円減（ $\Delta 0.7\%$ ）の 1,441 億 18 百万円となりました。

以上の結果、営業利益は 30 億 21 百万円減（ $\Delta 17.4\%$ ）の 143 億 76 百万円となりました。また、営業外損益を含めた経常利益は 26 億 17 百万円減（ $\Delta 19.2\%$ ）の 110 億 42 百万円、当期純利益は、9 億 3 百万円減（ $\Delta 10.1\%$ ）の 80 億 47 百万円となり、8 年ぶりの減収減益となりました。

なお、当期の期末配当金については、1 株あたり 30 円を株主総会にお諮りし、中間配当金とあわせて、1 株あたり年間 60 円を予定しております。

### 3. 平成 23 年度の業績見通し

平成 23 年度の販売電力量は前年度に比べ 0.6%増の 75 億 64 百万 kWh を見込んでおります。

売上高は燃料費調整制度の影響による電灯電力料の増加や、連結子会社の外部向け売上高の増加が見込まれることから、前年度に比べ増加する見通しとなっております。一方、費用は燃料費や他社購入電力料の増が見込まれることから、増加する見通しとなっております。

このような状況から、平成 23 年度の業績は、売上高は 1,713 億円、営業利益は 137 億円、経常利益は 105 億円、および当期純利益は 70 億円を見込んでおります。

別紙：決算の概要

以上

(別紙)

## 【決算の概要】

## ○平成 22 年度決算の概要

## ■販売電力量

(単位：百万 kWh)

	平成 22 年度 (実績)	平成 21 年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,991	2,916	+75	+2.6%
電 力※	4,530	4,562	△32	△0.7%
合 計	7,521	7,478	+43	+0.6%
参 考	民生用需要	6,243	+88	+1.4%
	産業用需要	1,278	△45	△3.4%

※電力には特定規模需要を含む

## ■連結経営成績（8年ぶりの減収減益）

(単位：百万円)

	平成 22 年度 (実績)	平成 21 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	158,494	162,501	△4,007	△2.5%
営 業 利 益	14,376	17,397	△3,021	△17.4%
経 常 利 益	11,042	13,659	△2,617	△19.2%
当期純利益	8,047	8,950	△903	△10.1%

## ○平成 23 年度業績見通し

## ■販売電力量見通し

(単位：百万 kWh)

	平成 23 年度 (見通し)	平成 22 年度 (実績)	増減	増減率
電 灯	2,973	2,991	△18	△0.6%
電 力※	4,591	4,530	+61	+1.3%
合 計	7,564	7,521	+43	+0.6%

※電力には特定規模需要を含む

## ■連結業績見通し比較（3年ぶり増収減益）

(単位：百万円)

	平成 23 年度 (見通し)	平成 22 年度 (実績)	増減	増減率
売 上 高	171,300	158,494	12,805	+8.1%
営 業 利 益	13,700	14,376	△676	△4.7%
経 常 利 益	10,500	11,042	△542	△4.9%
当期純利益	7,000	8,047	△1,047	△13.0%

※端数処理の関係で増減が合わない箇所があります